

霊長類で世界初

臨床応用への道筋探りたい

研究チームの飯笠浩司慶応大専任講師の話「子宮移植をめぐるはトルコやスウェーデンなどで、人の子宮移植の報告があるが、国内では倫理的な議論があるなど、事情が異なる。微小な血管の縫い合わせや移植した子宮の管理など、移植手術の技術は確立したと言えるが、免疫抑制剤の使用方法などで課題もある。今後も基礎実験を重ねて、情報を公開して社会の理解を得ながら、臨床応用への道筋を探っていきたい」

市民権を得るか議論が必要

日本生殖医学会倫理委員長で埼玉医大の石原理教授（産婦人科）の話「生まれつき子宮がない人や子宮を失った人にとって将来有用になり得る医療技術だ。ただ現状では、子宮は脳死移植の対象臓器ではなく、母親などからの生体移植が前提。子宮の生体移植が市民権を持ち得るかは、社会の議論が必要だ。必要性や意義については、卵子提供や代理出産、養子縁組制度とも関わる問題。生殖補助、移植医療全体の中での位置付けを考えながら研究の進展を見守りたい」

子宮移植のサル 出産

慶応大や東京大などの研究チームは、雌のカニクイサルから子宮を摘出して再び移植し、妊娠と出産に成功した。札幌市で開かれる日本産科婦人科学会学術講演会で10日発表する。子宮移植後の出産は霊長類では世界初といっ。

人間では海外で妊娠までの報告がある。今回は自らの子宮を使う自家移植だが、チームは別のサルからの移植実験を進めている。病気などで子宮を失った女性が生体移植を受ける医療の関連でつながる一方、心臓や肝臓のように生命維持に必要な臓器ではないため、どこまで移植が許されるかなど倫理面の懸念も指摘されている。

チームは6歳のカニクイサルから子宮を摘出し、同じサルに戻す移植手術を実施。微小な血管4本を顕微鏡で見ながらつないだ。手術から35日目に月経が再開し、116日目自然妊娠を確認。交配から143日目帝王切開で出産した。助産は「サルは子宮の形状や月経周期が人に近い。移植手術の技術は確立したと

言える。将来、先天的に子宮がなかったり、子宮を失った患者が、出産できるようになるための医療技術開発につながる可能性がある」としている。

チームはすでに、カニクイサルから摘出した子宮を別のサルに移植し、拒絶反

人に応用 倫理面で問題指摘も

子宮移植 生まれつき子宮がなかったり、病気や事故で子宮を失った女性に、子宮の提供を受け妊娠、出産するための移植手術。動物実験ではマウスなどで出産例がある。人間では、2011年に提供者から子宮の移植を受けたトルコの20代女性が初の成功例とされ、13年4月に体外受精により妊娠したことが明らかとなった。スウェーデンの大学も12年、母から娘への子宮移植を2例発表している。

第2776回開券・中部・東北自治会くじ(9日)

1000万円

▽1等 1012647
09組 129647
19組

▽1等の前後賞 (100万円)

▽1等の組違い賞 (10万円)

▽2等 (100万円)

1ケタ 154983
0組 157208
▽3等 (10万円)

各組共通 108925
179616
189979

▽4等 (1万円)

下4ケタ 9999
8545

▽5等 (5000円)

下3ケタ 351

第759回口ト6(9日)

本数字=14、22
25、28、37、41
ボーナス数字=31

1等=1口 150,508,300円
2等=9口 15,050,700円

住民通報も解放なら

米3女性監禁 52歳男を



「ニューヨーク共同」米オハイオ州クリーブランドで女性3人が約10年にわたり監禁されていた事件で、警察官が容疑者宅を訪れたり、住民が3人とみられる女性を自撃したりして

いたものの、解放ならなかったことだ。米メディアが地元司法当局に招き強姦の容疑がルバス運転手、マカストロ容疑者(カストロ容疑者)を訴追した。目撃した兄弟2人は

子宮移植のサル 妊娠・出産に成功

慶大・東大など

慶応大や東京大などの研究チームは、雌のカニクイサルから子宮を摘出して再び移植し、妊娠と出産に成功した。札幌市で開かれる日本産科婦人科学会学術講演会で10日発表する。子宮移植後の出産は霊長類では世界初

きょうの夕刊

国際商品、神経質な値動き

商品フオッチ【マーケット総合】

あなたも骨粗しょう症？

【はいふん】

武満徹さんの自筆譜

今井信子さんの玉手箱【夕刊文化】

という。人間では海外で妊娠までの報告がある。今回は自らの子宮を使う自家移植だが、チームは別のサルからの移植実験も進めている。

病気などで子宮を失った女性が子どもを持つための医療の開発につながる一方で、心臓や肝臓のように生命維持に必須の臓器ではないため、どこまで

移植が許されるかなど倫理面の問題も指摘されている。

チームは6歳のカニクイサルから子宮を摘出し、同じサルに戻す移植手術を実施。微小な血管4本を顕微鏡で見ながらつないだ。手術から35日目に月経が再開し、116日目に自然妊娠を確認。交配から143日目に帝王切開で出産した。妊娠中、胎児の発育に問題はなかったという。

口 理 保

山梨県環境科学研究所の荒牧重雄所長は「観光客の避難計画までは議論が

らアクセスがあった。パズワードの入力を繰り返しており、約1万5千人



子宮移植のサル 自然妊娠で出産

霊長類で初めて

慶応大と東京大などのチームは10日、子宮を一度取り出して移植し直したサルが自然妊娠で出産したと、札幌市で開かれている日本産科婦人科学会で発表した。移植した子宮での出産は霊長類で初という。子宮がない人の不妊治療として応用を目指す、命を左右する臓器の移植ではなく、議論が必要だ。

木須伊織慶応大助教ら

矢張り「液体」ではなく「固体」で生きていくという。

グループは、2種類のレオアースを組み込んだ高分子を開発。紫外線を当てると低温では緑、中温は黄色、高温は赤く輝く。

温度によって発光強度が変わる塗料は、宇宙船が大気突入する

250度～マイナ 温度によって色

（戻ってもなお）
航空機や自動車の表面に塗り、超高速で動かす実験で、機体の表面温度がどうなるのかを調べるこ
とができるという。「さらに工夫して500度まで耐える発光体を開発したい」と長谷川教授は話している。

（瀬川茂子）

は、カニクイザルの子宮を血管と一緒に取り出した後、元の場所に戻して臍と血管を縫合。手術後35日目に月経が戻り、116日目に自然妊娠、帝王切開で出産した。赤ちゃんに異常はなかったという。チームは、脳死ドナーからの子宮移植も視野に、体外受精に

よる妊娠を想定するが、現在の臓器移植法は子宮を移植対象の臓器にしていな

い。木須さんは「技術は確立してきた。倫理面の議論が必要」と話す。（下町佳代子）

許されない指導 具体例示す方向

運動部指針案で文科省

中学、高校の運動部活動

指導のガイドラインを策定する文部科学省の有識者会議が10日あり、「体罰は許されない」「信頼関係があれば何をやっても許されるはずとの意識は認められな

子宮移植のサルが出産

研究チーム発表 霊長類で世界初

慶応大、東京大などの研究チームは、子宮を摘出して再移植したカニクイサル（霊長類）の出産に成功したと発表した。霊長類が子宮移植後に出産まで至ったのは世界初という。札幌市で開かれている日本産科婦人科学会で10日報告された。子宮移植は、人間では海

外で妊娠まで至った例が報告されている。マウスなどでは、移植後に出産した事例はあるが、霊長類では出産の報告はない。同チームは、6歳のメスのカニクイサルの子宮を血管を付けたまま摘出、同じサルに再移植した。移植35日後に月経が再開し、11

6日後に自然妊娠、交配後143日後に帝王切開で出産した。胎児の発育に問題は見られなかった。さらに、摘出した子宮を別のカニクイサルに移植し、拒絶反応を抑える免疫抑制剤を使った実験も進めているという。

子宮のない女性が妊娠、出産するための治療手段として、子宮移植の研究は世界で進められている。日本では、脳死移植の対

象臓器に子宮は含まれていない。

研究にあたった慶応大の阪登浩司専任講師と木須伊織助教は「手術の技術とし

ては人を含めた霊長類の妊娠・出産の可能性が広がった。患者に応用するためには、今後、社会的な議論が必要だ」と話している。

都内ヒキガエル

西日本型が8割

東大大学院教授ら発表

東京の公園などに広く生息するヒキガエルの多くは、純粋な東日本型ではなく、西日本から流入したヒ

「ニホンヒキガエル」と、東側に住む「アズマヒキガエル」の二つの亜種（種より下の分類）に分けられる。ニホンヒキガエルの方が目の横の鼓膜がやや小さいが、両者は交配して子孫を残せる。明治〜大正期に西のニホンヒキガエルが実

ドワニレとヒキガエルの関係

摘出後に再び体内へ

慶応大や東京大などの研究チームは、雌のカニクイザルから子宮を摘出して再び移植し、妊娠と出産に成功した。札幌市で開催された日本産科婦人科学会学術講演会で十日発表する。子宮移植後の出産は霊長類では世界初という。

人間では海外で妊娠までの報告がある。今回は自らの子宮を使う自家移植だが、チームは別のサルからの移植実験も進めている。病気などで子宮を失った女性が子どもを持つる医療の開発につながる一方、心臓や肝臓のように生命維持に必須の

移植子宮でサル出産



臓器ではないため、どこまで移植が許されるかなど倫理面の問題も指摘されている。

チームは六歳のカニクイザルから子宮を摘出し、移植手術を実施。微小な血管四本を顕微鏡で見ながらつないだ。手術から三十五日目に月経が再開し、百

慶大など 喪失女性に应用可能性も

十六日目に自然妊娠を失った患者が、三日目に帝王切開で出産できるようになる。妊娠中、胎児の発育に問題はなかったという。

チームの木須伊織慶大助教は「サルは子宮の形状や月経周期が人に近い。移植手術の技術は確立したと言え、将来、先天的に子宮

がなかったり、子宮を失ったりした患者が、出産できるようになるための医療技術開発につながる可能性がある」としている。

すでに、カニクイザルから摘出した子宮を別のサルに移植し、拒絶反応を抑えるため免疫抑制剤を使った実験も進めている。



子宮移植 生まれつき子宮がなかったり、病気や事故などで子宮を失った女性に、子宮の提供を受けたサルからの移植手術。世界中で研究が進められており、動物実験ではマウスなどで出産例がある。人間では、サウジのアラビアで世界初の生

実施されたが、血栓が生じて摘出されたことが2002年に判明。11年に提供者から子宮の移植を受けたトルコの20代女性が初の成功例とされ、13年4月、この女性が体外受精により妊娠したことが明らかとなった。

スウェーデンの大学も12年、母から娘への子宮移植を2例発表している。